

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 11 月 1 日  
東京電力株式会社

## < 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (11/1 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉圧力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*1	原子炉格納容器 水素濃度	
1号機	淡水 注入中	炉心スプレィ系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h	31.1	105.7 kPa abs	A系： 1.30	vol %
		給水系：約 2.7 m <sup>3</sup> /h			B系： 1.31	vol %
2号機	淡水 注入中	炉心スプレィ系：約 4.2 m <sup>3</sup> /h	43.9	5.36 kPa g	A系： 0.05*2	vol %
		給水系：約 1.9 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.03	vol %
3号機	淡水 注入中	炉心スプレィ系：約 4.5 m <sup>3</sup> /h	43.8	0.22 kPa g	A系： 0.19*2	vol %
		給水系：約 1.6 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.17	vol %

\*1 絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

\*2 電源停止作業に伴いデータ欠測のため、直近で計測できている 10/31 5:00 時点の数値を記載。

- 【1号機】・11/1 15:42 原子炉への注水量の低下が確認されたため、給水系からの注水量を約 2.6m<sup>3</sup>/hから約 3.0m<sup>3</sup>/h、炉心スプレィ系からの注水量を約 1.9m<sup>3</sup>/hから約 2.0m<sup>3</sup>/hに調整。
- 【2号機】・11/1 15:42 原子炉への注水量の低下が確認されたため、給水系からの注水量を約 1.9m<sup>3</sup>/hから約 2.0m<sup>3</sup>/h、炉心スプレィ系からの注水量を約 4.2m<sup>3</sup>/hから約 4.5m<sup>3</sup>/hに調整。
- 【3号機】・11/1 15:42 原子炉への注水量の低下が確認されたため、給水系からの注水量を約 1.6m<sup>3</sup>/hから約 2.0m<sup>3</sup>/h、炉心スプレィ系からの注水量は約 4.5m<sup>3</sup>/hで継続。

## < 2. 使用済燃料プールの状況 > (11/1 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	21.5
2号機	循環冷却システム	停止中	26.7
3号機	循環冷却システム	運転中	18.6
4号機	循環冷却システム	運転中	26

\*各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウエルへヒドラジンの注入を適宜実施。

- 【2号機】・10/30 15:30 所内電源停止に伴い、使用済燃料プール代替冷却系を停止。

## < 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	→ 3号機タービン建屋	10/30 10:09 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設 [ 雑固体廃棄物減容 処理建屋 (高温焼却炉建屋) ]	10/26 12:18 ~ 移送実施中

## < 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (11/1 7:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)
運転状況	停止中	運転中*	停止中	水バランスをみて 断続運転	水バランスをみて 断続運転

\*フィルタの洗浄を適宜実施。

- ・H23/6/8~ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

## <5. その他>

- H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
- H24/2/23～ 6号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- H24/3/6～ 5号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- H24/4/25～ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。
- H24/10/23～ 1号機サプレッションチェンバ内への窒素ガス連続封入を開始。サプレッションチェンバ内の水素濃度を推定2%程度まで低くするために、連続封入期間は1ヶ月程度を予定。
- H24/11/1 11:33 5・6号機サービス建屋において、連続的に空気中の放射性物質濃度を測定する測定器(連続ダストモニタ)の警報が発生。警報を受け、全面マスク着用の運用に基づき全面マスク着用を指示。その後、以下のとおり詳細調査を実施し、総合的に判断した結果、同日 13:05、全面マスク着用指示を解除。また、同日 12:40、連続ダストモニタの警報は解除。なお、連続ダストモニタ濾紙の核種分析結果より、警報発生時において未検出であることを確認している。今後、連続ダストモニタの故障の可能性も含めて、警報発生原因について調査を行う予定。
  - <確認内容>
  - ・モニタリングポスト指示値(No. 1～8):変化なし
  - ・現場周辺線量:2～3  $\mu$  Sv/h
  - ・連続ダストモニタ濾紙の核種分析結果:未検出
  - ・現在の連続ダストモニタ指示値: $2 \times 10^{-6}$  Bq/cm<sup>3</sup>
  - ・可搬型ダストサンプラによる測定: $2.8 \times 10^{-5}$  Bq/cm<sup>3</sup>以下

以上